



あなたと議会を結ぶ

議会だより

- 発行：鹿児島県知名町議会
- 編集：議会広報委員会
- 発行日：平成30年4月25日
- 〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119



「おきのえらば島産業クラスター創出拠点施設」が完成

地域住民はもとより、島出身者や観光客との交流機会増大、沖永良部発の新産業の創出・既存産業の高付加価値化につなげ「住んでよし、訪れてよし」の島づくりの具現化へ

《クラスターとは》「房」「集団」「群」のことを言い、多様な主体との連携を促し、それらを有機的に結びつける仕組みの構築

主な内容

- ◆ 第1回臨時会・定例会のあらまし／平成30年度当初予算 …………… 2～3
- ◆ 一般質問 …………… 4～13
- ◆ 第1回臨時会・定例会で審議された案件 …………… 14
- ◆ 沖永良部・与論地区議会議員大会
部品落下の原因究明・再発防止要請 …………… 15
- ◆ 議会の動き／編集後記 …………… 16



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

平成30年第1回臨時会・第1回定例会

第1回臨時会 第1回定例会 のあらまし

知名町議会第1回臨時会は1月18日に開かれ、今井町長の所信表明を受け、平成29年度一般会計補正予算(第6号)を承認し、上城小学校屋内運動場大規模改修工事の工事請負変更契約の締結を可決し、人事案件では、副町長の選任に同意しました。

知名町議会第1回定例会は、3月5日から9日までの日程で開かれ、今定例会では、町長の施政方針表明の後、町政全般に対する一般質問に9名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わられました。

補正予算審議では、一般会計(第7号)、国民健康保険特別会計(第3号)、水道事業会計(第2号)の3件を原案可決しました。

単独議案審議では、知名町税条例など8件の条例の一部改正を原案可決、おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点の設置及び管理に関する条例の制定など3件を原案可決し、知名道路線の廃止、認定、変更の3件を原案可決、知名辺地総合整備計画の変更、知名町過疎地域自立促進計画の変更を原案可決しました。

また、平成30年度当初予算については、一般会計、特別会計及び水道事業会計の当初予算10件を原案可決しました。

人事案件では、教育委員会教育長の選任に同意しました。

平成30年度
当初予算

一般会計・特別会計・水道事業会計合わせて

総額81億0,728万8千円

平成30年度 一般会計当初予算

(単位：千円)

歳入				歳出					
款	科目名称	本年度	前年度	比較	款	科目名称	本年度	前年度	比較
1	町 税	489,840	473,787	16,053	1	議会費	91,858	94,276	△2,418
12	分担金及び負担金	96,011	77,106	18,905	2	総務費	684,079	693,786	△9,707
13	使用料及び手数料	99,581	96,529	3,052	3	民生費	1,387,256	1,287,175	100,081
16	財産収入	55,885	51,144	4,741	4	衛生費	247,468	263,356	△15,888
17	寄付金	30,062	5,062	25,000	5	農林水産業費	794,206	772,106	22,100
18	繰入金	74,400	88,045	△13,645	6	商工費	70,636	62,105	8,531
19	繰越金	20,000	20,000	0	7	土木費	451,884	343,601	108,283
20	諸収入	31,145	58,351	△27,206	8	消防費	177,542	140,778	36,764
◎自主財源計		896,924	870,024	26,900	9	教育費	734,699	376,552	358,147
2	地方譲与税	53,186	53,040	146	10	災害復旧費	95	95	0
3	利子割交付金	426	518	△92	11	公債費	811,100	770,770	40,330
4	配当割交付金	648	1,270	△622	12	予備費	10,000	10,000	0
5	株式等譲渡所得割交付金	1	1	0		諸支出金	0	0	0
6	地方消費税交付金	101,062	103,920	△2,858	歳出合計		5,460,823	4,814,600	646,223
7	自動車取得税交付金	7,263	9,775	△2,512	平成30年度一般会計当初予算総額は54億6千823千円で前年度比13.4%の伸びとなっております。				
8	国営施設等所在市町村助成交付金	19,563	19,639	△76					
9	地方特例交付金	798	733	65					
10	地方交付税	2,692,265	2,619,000	73,265					
11	交通安全対策特別交付金	838	870	△32					
14	国庫支出金	419,667	312,155	107,512					
15	県支出金	444,235	447,452	△3,217					
21	町債	823,947	376,203	447,744					
◎依存財源計		4,563,899	3,944,576	619,323					
歳入合計		5,460,823	4,814,600	646,223					

平成30年度 特別会計・水道事業会計の当初予算

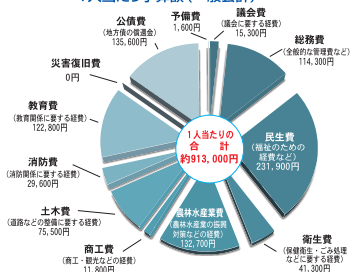
(単位：千円)

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
国民健康保険特別会計	1,011,526	1,235,074	△223,548
介護保険特別会計	846,472	811,594	34,878
後期高齢者医療特別会計	80,272	78,586	1,686
奨学資金特別会計	19,576	21,470	△1,894
下水道事業特別会計	167,777	131,700	36,077
農業集落排水事業特別会計	166,214	177,800	△11,586
合併処理浄化槽事業特別会計	25,918	23,000	2,918
土地改良事業換地清算特別会計	136,426	90,380	46,046
水道事業会計	192,284	192,532	△248
合 計	2,646,465	2,762,136	△115,671



町民1人当たりの予算額(平成30年4月1日現在の住民基本台帳で算出)

1人当たり予算額(一般会計)



【予算の分類(会計上の区分)】

地方公共団体の会計は単一のものが原則ですが、地方公共団体の事務は複雑多岐にわたっており、1つの会計ですべてを処理することとなると、予算の理解を困難にします。そのため、本町では一般会計、特別会計および企業会計の3種類の会計を置いて、財政の明確適正化を図っています。

○ 一般会計

福祉、教育、道路整備など地方公共団体が基本的に行うべき事業のための会計です。

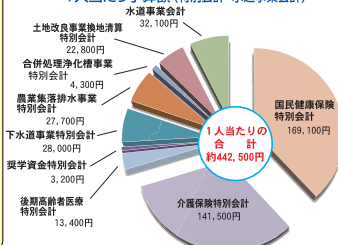
○ 特別会計

特定の事業を行うための歳入歳出を、一般会計と区別して別個に処理するために、条例に基づき設置します。本町には、国民健康保険特別会計など8の特別会計があります。

○ 企業会計

一般的には、株式会社などの民間企業における会計のことを指しますが、地方財政上は、地方公営企業法の全部または一部が適用される公営企業の会計のことをいいます。本町には、水道事業会計があります。

1人当たり予算額(特別会計・水道事業会計)



一般質問

9名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指す町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

5ページからの掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。
(質問順に掲載)

○ 今井 吉男 議員

1. 今井町長の公約の目玉「子育て支援・出産祝い金」の増額について
2. グラウンドゴルフ場の公認コース整備について
3. 養護老人ホーム「長寿園」の建て替えについて
4. 安心・安全な町づくりの一環として、水道水の軟水化事業について
5. 力強い農畜水産業づくりについて

○ 中野 賢一 議員

1. 少子化対策・子育て支援（出産祝い金）について
2. 少子化対策・子育て支援（給食無償化）について
3. フローラルパーク（グラウンドゴルフ場の公認化）について
4. 教員住宅について
5. 知名町立武道館改修整備について
6. 老朽化の激しい知名町立給食センター建て替えについて

○ 外山 利幸 議員

1. 子育て支援と人づくりについて
2. 観光振興について
3. 町民主体の町づくりについて

○ 平 秀徳 議員

1. 国営地下ダムについて
2. 知名町総合育苗センターについて

○ 宗村 勝 議員

1. 有害鳥獣対策について
2. スポーツ施設の整備について
3. 水道水の硬度低減化について
4. 消防団車庫の建て替えについて
5. 町長選挙における街宣車のあり方について

○ 奥山 直武 議員

1. 雇用促進事業について
2. 教育行政について

○ 新山 直樹 議員

1. 旧園舎等の活用について
2. 認定こども園「すまいる」の周辺整備について
3. AED設置について

○ 根釜 昭一郎 議員

1. 農業振興政策について
2. 人づくり政策について

○ 西 文男 議員

1. 町長の所信表明について
2. 町の6次産業について
3. 庁舎建設について

議会を傍聴してみませんか。



議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができまので、お気軽にお越しください。



今井吉男 議員

出産祝金の増額はできないか

町長／平成31年度から実施できるように取り組む

問 グラウンドゴルフ場の公認コースを整備して、郡大会や県大会等、町外チームの誘致を行い、交流人口の増加による商工・観光業の活性化が図られると考えるので、フローラルパークに隣接する町有地を造成して、公認コースの整備はできないか。

答 町長 〓 本事業の目的である出生率の向上による少子化対策と子育て支援の両面から効果的な支援制度となるよう制度改正を行い、平成31年度からの実施に向け取り組む。

問 新年度から出産祝金の増額はできないか。財源は、鹿児島事務所を廃止して、事務所維持費年間約1200万円を充当することを提案する。

答 町長 〓 今井町長の目玉「子育て支援・出産祝金の増額」については、現在、本町の出産祝金は第3子からで、祝金5万円、第4子以降1万円ずつ加算、最高で第8子以降祝金10万円支給になっている。与論町は、第1子から支給で、祝金10万円、第2子20万円、第3子50万円、第4子60万円、第5子70万円、第6子以降10万円ずつ加算となっている。

答 町長 〓 昨年11月に知名町立養護老人ホーム「長寿園」の在り方検討委員会を発足し、総合的な見地から検討している。

問 養護老人ホーム「長寿園」の建て替え計画を變更して、田水団地を他地区に建設し、跡地に老朽化した「長寿園」と社会福祉協議会、老人福祉センター、保健センターを併設する「すまいるタウン計画」案の実現に向けた取り組みはできないか。



フローラルパークに隣接する町有地

答 町長 〓 平成30年度策定の第6次知名町総合振興計画の盛り込み、フローラルパーク整備について協議を進める。

答 町長 〓 県に補助率の嵩上げ等を要望するとともに、5ヶ所ある浄水場の集約化を含め、検討していく。

問 安心・安全な町づくりの環境として、水道水の軟水化事業について、これまで数回、水道水の硬度低減化事業導入を提案したが、国の補助率が1/3や、浄水場が5ヶ所、概算事業費15億円等で、頓挫している現状ですが、国の補助率の引き上げ要望や、5ヶ所の浄水場を2、3ヶ所に集約して水道水の軟水化事業導入はできないか。



養護老人ホーム「長寿園」



きくらげ



コーヒー・キール、焼酎



シマ桑茶



パレイショ



えらぶユリ

問 本町の農畜産物のブランド化や地産地消の推進と、ふるさと納税制度と町を全国の出身者や知名町ファンに積極的な情報発信を行い、寄付金の増額を図り、寄付者への返礼品に本町の農畜産物を活用できないか。

答 町長 〓 返礼品に本町で生産されているパレイショや切り花などの農産物、シマ桑などの加工品が活用されているが、今後返礼品の充実を図っていく。

少子化対策・子育て支援(出産祝金)について



中野賢一議員

町長／平成30年度内を目途に制度改正を

問 少子化対策・子育て支援(出産祝金)について。

答 町長は本町の「子育て支援金」制度は、平成19年3月に「出産した者に対し出産祝金を支給することにより出生率の向上を図り、活力ある町づくりを担う子供の健やかな成長に寄与すること」を目的に設置されています。本制度は、平成23年に「支給要件の緩和」と、平成26年に「支給額の増額」に係る制度改正を行い現在に至っております。現行制度については、少子高齢化と人口減少が更に進んだ現状における少子化対策として十分ではないかとの意見もありませんことから制度見直しを行うこととされており、平成30年度内を目途に他市町村の取組み状況も参考にしながら、支給対象者、支給額、支給時期、住所地等の支給要件について、本事業の目的である出生率の向上による少子化対策と子育て支援の両面に亘りより効果的な支援制度となるように制度改正を行い、平成31年度から実施できるように取り組んでまいります。

問 少子化対策・子育て支援(給食費無償化)について。

答 教育長は学校給食法には、学校給食に要する経費のうち、学校給食者の負担と学校給食を受ける児童・生徒の保護者の負担について規定され、現在本町では、パン、米飯・牛乳・添加物などが町費負担、おかずにあたる温食費は保護者負担としており、ほぼ保護者と同じような負担区分となっております。こうした中、中野議員のご質問にございませうように、少子化対策・子育て支援などの観点から給食費を無償化する市町村もあり、これまでも幾度か保護者負担分の約二百万円程度を毎年継続的に負担するだけから、給食費の無償化は難しいものと考えております。なお、特に家庭の経済的な状況が厳しく、給食費の負担が困難な世帯については、就学援助費の制度により給食費の全額補助が行われており、本年も小学生39名、中学生23名、計62名に援助を行っています。

問 フローラルパーク(クラウンDゴルフ場)公認化について。

答 町長はフローラルパークは町民のふれあい、健康増進及び福祉の向上を図るために整備を行っており、当時グラウ

ンドゴルフ競技人口等も勘案して様々なスポーツを整備しております。フローラルパークの整備計画については、利用可能敷地を増やすため観光貸付農園は利用状況を鑑み廃止し、近年、グラウンドゴルフの大会数、競技人口の増を踏まえ、時代即したコース整備を視野に入れております。また、現在、子供達が安心して楽しく遊べる遊具施設の整備も行ってまいります。自由で遊べる広場の確保や、多目的広場がドクタイへの離発着場としてますますの場所の変更等いくつかの課題が上がっております。以上のこと踏まえ、平成30年度策定の第6次知名町総合振



学校給食の様子

興計画に織り込みながらフローラルパーク整備について協議を進めたいと思います。グラウンドゴルフ場の整備は、県単独事業の地域振興推進事業及び、奄振LP推進枠、社会資本整備総合交付金、サツカーくじ、笹川財団の助成事業、過疎対策事業債が適用できると思っています。

問 老朽化の激しい知名町立給食センターの建て替えについて。

答 教育長は昨年9月に、学校給食センター建設検討委員会において建設候補地などの検討を行い、知名中学校テニスコートを建設地として設計を進め、地質調査を実施いたしました。地質調査の結果、支持層について一安定した支持層が確認できないとの調査結果となり、杭補強工事による費用が見込まれることから、現在の場所に多額の費用をかけて建設を行うか、新たに候補地を選定して建設を進めるのかについて、町当局と協議を行った結果、費用面を考慮し、杭補強工事に多額の費用をかけるより、新たな建設地をさがす方向で検討することになり、現在、建設候補地の検討を進めているところであり、ます。



外山利章 議員

子育て環境の充実への取り組みは

町長／放課後児童クラブの新設、未使用施設の活用で子育てニーズに対応を

問 子育て世代は子育て環境の充実を望んでいるがどのように取り組むのか。

答 町長 放課後児童クラブの運営拠点の新設と公民館や未使用施設を利用した子育て、親子が集える場所の提供を検討していきたい。

問 子育て支援と人づくりについて。知名幼稚園跡地に新築される放課後児童クラブは子育て世代のニーズに対応したものだが、それ以外の地域の子育て環境の整備はどのように行うのか。

答 町長 遊休施設等の活用が考えられるが、他の校区では放課後児童クラブの事業実施者がいないので引き続き探していきたい。また幅広い世代が集まり子育て、福祉が一体的に行える場ができないか各課横断的に考えていきたい。

問 おきのえらぶ島産業創出拠点は人づくりに重要な役割を果たすと思うがどのような施設か。

答 町長 島内外の人材の交流機会を生み出し、新産業の創出・既存産業の高付加価値を具体的に考える場として観光案内所やシェアオフィス、会議室など幅広い世代に利用できる施設です。

問 社会人のスキルアップやリカレント教育（学び直し）を行う目的で星槎大学のサテライトカレッジとしての利用は、

答 町長 来年度から会議室を利用して授業が行えるようテレビ会議システムなどICT設備を整備している。

問 沖高生が地域課題の解決に取り組むキャリアアップ助成事業は島への想いや今後のＵターンを考えるきっかけとして非常に良い事業で今後も事業継続を望むか。



地域課題の解決に挑戦！沖高生の無農薬ジャガイモプロジェクト

答 町長 多くの高校生が島に帰ってきたというアンケート結果もあり、この活動を通じて島への貢献を考えるきっかけとなるよう町として今後も支援ができればと考えている。

問 観光振興について。集落散策など地域の観光資源を紹介するガイドの育成は、

答 町長 エコツアーガイドだけではなく集落内を案内できる方々の活用も考えていきたい。

問 より詳細な観光情報の提供と防災の観点から公共施設、観光拠点、公民館などのWiFi整備は行えないか。

答 町長 各種補助事業もあるが、運営上の制約などから町単独で導入する案を持っていない。町の負担があまりない状況での整備が可能であれば考えていきたい。

問 漂着ゴミを回収する回収ボックスの整備やボランティア活動のバックアップを行政としてどのように行うのか。

答 町長 先行している与論町の事例等も参考に本町としての対応も考えていきたい。またゴミの処分に関しては和泊町、ク

リーンセンターとも協議を行いたい。



与論町の海岸ゴミ回収箱

問 町民主体の町づくりについて。町民との対話を大切にする行政として町民組織の新設を掲げているが具体的な内容は、

答 町長 「町民と行政」がともに取り組む協働による町づくりのため町づくり協議会や町民会議を立ち上げるための準備委員会を設立する予定です。

問 役場職員の意識改革をどのように進めていくのか。

答 町長 内部、外部評価を含め行政評価を活用する予定。親しまれる役場づくりについて問題提起をしたところ接遇やイメージアップについての提案が出るなど意識改革がスタートしている。

国営地下ダム平成33年に完成

町長／沖永良部農業の畑かん営農にさらなる期待



平 秀徳 議員

問 国営地下ダム本体、県営事業の進捗状況は。

答 町長 国営地下ダム事業は、平成28年度までの予算ベースで約65%で、地下ダム止水壁工事は12工区のうち今年度まで12工区が完了し、来年度は新規の2件を含む4工区を実施する予定です。県営事業で整備している国営附帯地区は、全5工区で約40%です。

問 中央管理所、地下ダムから越流する水（水位水質観測施設）の用地確保と位置について。

答 町長 中央管理所用地は、国営水利事業所において地権者と買収手続きを行い町境付近の竿津字、県道知名くえらぶゆりの島空港線沿いに確保する予定です。水位水質観測施設は、地下ダム止水壁工事、沖永良部高校グラウンド東の地下ダム敷地内に設置する予定です。

問 資料館建設は。

答 町長 資料館については、両町及び沖永良部土地改良区等関係機関と協議を重ね中央管理所の会議室を有効利用し、島内外の関係者へのPRのための写真展示、島内の子供達の教育の一環として地下ダム建設の経緯を含めたビデオ上映などを検討しています。

問 畑地かんがい営農推進への取り組みは。

答 町長 沖永良部島畑地かんがい推進協議会を中心に、町技連会の関係機関と連携し、通水後の生産性、収益性の高い畑かん営農の推進に努め、さらに畑かん営農ビジョンの実現に向けて町技連会を中心に畑かんマイスターと連携し



沖永良部畑地かんがい営農ビジョン



散水器具取扱説明会



農業用水利用研修会の様子



メリクロン球の増殖・実証展示は

問 知名町総合育苗センターの管理運営について。

答 町長 昭和63年に整備された実証展示は設置、各種研修会における水利用の推進、広報紙による啓発活動に努めて参ります。

問 知名町総合育苗センターの管理運営について。

答 町長 昭和63年に整備されたユリを中心とした優良種苗の供給やオリエンタルユリ、ソリダゴ、メロン、ニガウリ等新品目導入が図られました。現在は、県から供給されたメリクロン球の増殖と県産品物の実証栽培、技連会の各作物部会による実証展示は、ハウスは施設園芸を推進するチャレンジハウスとして活用。今後の運営は現状の活用状況を見守るとともに、農業振興上の新たなニーズが出てきた場合に対応して参ります。



宗村 勝議員

有害鳥獣による被害状況、捕獲数は

町長／イノシシ 32頭 カラス 585羽 キジ 297羽



カラス用トラップ

問 有害鳥獣対策について。イノシシ、カラス、キジ等の被害状況並びに捕獲数を伺うと同時に特にイノシシに関しては早期に撲滅を図るべきだと思ふ。またカラスに関してはカラス用トラップ等の設置等をして個体数を減らすべきだと思ふ。

答 町長 Ⅱイノシシやカラス等の有害鳥獣の被害状況につきましては、イノシシによるサトウキビや馬鈴薯などの農作物への被害、カラスによる牛舎での飼料荒らしやごみ収集場でのゴミ荒らしなど生活環境への被害が確認されており、捕獲数については平成28年度イノシシ 三二頭、カラス 五八五羽、キジ 二九七羽となっております。

問 スポーツ施設の整備について。各種スポーツ施設の整備を図り、プロ選手や実業団チーム（選手）、学生チーム（選手）等の合宿誘致を促し、交流人口の増加をすべくではないか。

答 町長 Ⅱグラウンドゴルフ場や各種スポーツ施設の整備を進め、スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の増加により、商工観光業界の活性化につなげ、雇用の場の創設にもつなげていきたいと先の臨時議会で所信表明を行いましたので、財政状況を勘案しながら順次進めて行きたいと思ひます。

問 水道水の硬度低減化について。知名町の水道は非常に硬度の高い状態で町民は非常利用しており、給湯器やトイレ等に障害が発生しており、硬度の低減化の早期実現を望む。

答 町長 Ⅱ町民の水購入状況調査や軟水器の設置状況及び維持管理費等の調査を行い、国県へ補助率の崇上げ等について要望していきたいと思ひます。



牟津分団車庫

問 消防分団車庫の建て替えについて。屋子母分団、牟津分団の消防車庫は非常に老朽化が著しく大変危険であり、またトイレもなく団員は不便をきたしています。早期の建て替えを要望する。

答 町長 Ⅱ牟津分団車庫は昭和53年に完成、屋子母分団車庫は昭和54年に完成、それぞれ築40年が経過しようとしております。消防団車庫につきましては詰所と併せまして消防団員の消防活動の拠点であり、ご指摘の2分団車庫につきましては地城住民からも早急な建て替えが望まれているところであります。老朽化した消防団車庫の建て替えにつきましては財源の確保が整いつきましては順次進めて行きたいと思ひます。



問 町長選挙における街宣車のあり方について。平成29年12月に実施された町長選挙で、規則に反した街宣運動があった様にみうけられた。徹底した指導をすべきではないか。

答 選挙管理委員会委員長 Ⅱ選挙運動期間中に複数台連なった街宣場面は基本的には無いと解しております。各候補者におかれましては選挙運動で自動車を使用する場合は十分公職選挙法を理解のうえ選挙運動を行っていただきたいと思ひます。



屋子母分団車庫

企業誘致や新規企業の立ち上げは

町長／現段階では計画なし、シェアオフィスで支援を



奥山直武 議員

問 若い方々を町内に定住させるために企業誘致や新規企業の立ち上げの構想はないのか。

答 町長は現段階では計画なし。新規企業については、4月からオープンする「おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点」内にシェアオフィスを設置し支援を行う。

問 障がい者雇用促進事業で、障がい者にやさしい町づくりの政策をどのように進めるのか。

答 町長は障がい者雇用の促進及びサービス提供につきましては、就業希望者に対し「あまみ障害者就業・生活支援センター」に繋ぐことで相談等の機会を提供、福祉サービスについては「障害者就労支援施設・さねん」への通所を促し就職・生産活動への参加の機会提供に繋げたいと考えています。

問 障がい者雇用について。知名町役場は何人雇用されているのか。

答 町長は現在2名の障がい者が雇用されておりますが、全職員数から導き出される必要な雇用人数は4人です。2名不足の状態です。

問 公立中学校での夜間中学校の開設はできないか。

答 教育長は夜間中学は、平成28年4月現在、8都府県25市区31校の中学校に夜間県級が設置されていますが、鹿児島県教育委員会では、現在のところ情報収集をしている段階で設置の計画は無いと言っています。また、公立の夜間中学のほかに、教育委員会や任意団体などが実施する自主夜間中学や識字講座などもありますが、本町単独での自主夜間中学の設置は、人材確保や経費面の課題も多く難しいのではないかと思います。

問 小中学校の特別支援教育における本町の課題は。

答 教育長は専門医が病院に常駐していないので随時相談したり、アドバイスを受けることが出来ない。また、大島養護学校などの専門家を交えての研修の機会が少ない。

問 学校、ぼと、医療機関、保健福祉課等の連携はとれていないのか。

答 教育長は知名町特別支援連携協議会、知名町教育支援委員会、知名町地域自立支援協議会の三組織が連携を取りながら特別支援教育の充実に努めています。

問 ある学校では、病気休暇を取る教師がこの一年で二人も出たと聞き、異常事態ではないかと考える。教育長としては、どのように把握し対処するのか。

答 教育長は同一校で一年間に二人の教師が病気休暇を取る事態になったことは、憂慮すべき事態であり、今後そのような事態が発生しないように、大島教育事務所、学校、保護者、地域や関係機関等と連携を密にし改善を図って参ります。



おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点（起業支援）



問 特別支援教育を充実させるための体制づくりは。

答 教育長は地域における障がい者・障がい児支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等との緊密化を図ります。



新山直樹 議員

知名幼稚園遊戯室の活用計画について

町長／新たに「放課後児童クラブ」施設を新築する

問 知名幼稚園は放課後児童クラブが利用する計画ですが、今後はどのような活用計画になっているのか。

答 町長 〓 知名幼稚園遊戯室については、「放課後児童クラブ」を実施施設として改修し利用する予定でしたが、調査の結果、経年劣化が進んでおり改修に多額の費用を要することから事業実施に必要な面積、建物を新築した場合と比較検討した結果、解体撤去し、新たに施設を同敷地内に新築する。



知名幼稚園遊戯室

問 知名保育所は児童発達支援事業所「ぼてと」が利用する

計画でしたが、今後はどのような活用計画になっているのか。

答 町長 〓 当初、海側の建物は解体撤去し、山手の建物を運営に供する予定としていましたが、教室壁の撤去に伴う構造強度の確保や一帯に中長期計画策定時の支障となる可能性があること等から利用計画決定までの間、現況のまま残すこととしました。なお、「ぼてと」の運営施設としては、「旧下平川幼稚園」の利用について関係者が協議した結果、改修箇所が少なく、費用も抑えられ事業者側の了承を得られたことから、利用に向けて手続を行っています。

問 認定こども園「すまいる」に登って行く取付道路（旧道）との不具合があり、送迎時の交通に支障をきたしているため改善が必要ではないか。

答 町長 〓 瀬利覚、黒貫を結ぶ町道、旧知名保育所登り口、すまいるの登り口とハジロ窪線から県道に出る出口に道幅が狭い上に段差ができていたため交通に支障をきたしているのは確認しています。今後は予算の状況を見て検討したいと思います。



こども園「すまいる」の登り口付近

問 すまいる職員、保護者駐車場の路盤が剥離しているのでも修繕が必要ではないか。

答 町長 〓 指摘の箇所は当初は芝生や乳剤散布などで整備されていましたが、芝生が根付くまでには大雨が続き表面が剥離し現在の状況となっております。その状況については報告を受けております。修繕については、技術的なこともありまして、園を含め関係課でも復旧策をまとめるように指示をしたと思います。

問 防災拠点施設として各字の公民館を改修し防災機能強化を図ってききました。公民館は字の皆さん、そして地域の

方も利用し多くの人が集まる場所でもあります。万が一の備えとしてAEDの設置も必要ではないか。



A E D

答 町長 〓 AEDの設置につきましては町内の小中学校や公民館、民間事業所など4箇所で設置されています。医療従事者でない一般町民でも使用できるように、学校、公民館、企業等人が集まる場所を中心に設置されています。各字公民館は地域住民が必要な時に昼夜問わず利用しており、地域においては最も人が多く集まることで設置しています。各字公民館への設置につきましては財政的な面や住民への普通救命講習などの問題が考えられます。難しい問題が早くも緊急な設置は必要と迅速に対応し一人でも多くの人命救助と社会復帰を後押しする取り組みを行ってまいります。

農業振興政策で堆肥センターを考えているか



根釜昭一郎 議員

町長／耕畜連携による地力増進対策に取り組んで行く

問 所信表明の中で、「目前の有機肥料の生産と活用」を掲げているが、堆肥センターの創設を今後計画していくのか。

答 町長 農業生産を高めていくための有機物を活用した土作りは、農業振興のみならず地域環境の保全にも重要であると考えております。

当地域における堆肥については、（公財）沖永良部農業開発組合でさとうきびの堆肥と牛ふんを原料とした堆肥が、さとうきびやばれいしよ、花き類、葉たばこなどに活用されてきております。

平成28年度からは韓国栄養業の「さとうきび生産振興事業」による堆肥の半額助成も開始されておりまして、事業活用による土作りを更に進めて参りたいと考えております。また、他の品目についても、まずは両町及び農協で運営面でも大きく関与している（公財）沖永良部農業開発組合の堆肥の活用と、緑肥の推進、耕畜連携による地力増進対策に引き続き取り組んで参りたいと考えております。

問 作物によって有機肥料の質・量が異なると思うがどう考えているか。



沖永良部農業開発組合による堆肥散布

答 町長 本町の土壌は、琉球石灰岩層が風化した生成された粘着性の強い暗赤色土が大部分を占め、有機質が乏しく保水性や保肥力が弱く、多雨期には過湿、干ばつ時には干害を受けやすいなど、作物の生産には厳しい土壌条件となっております。

堆肥の種類としては地力の維持・増強などの土壌改良効果の高い牛ふん堆肥、肥料的效果が高い鶏ふん堆肥、肥料的効果のある豚ふん堆肥などがあります。量については、さとうきびで10アール当たり3トン、その他の作物については概ね2トン程度を継続して施用することが基本となっております。

問 畜産振興はどのように考えているのか。

答 町長 畜産は堆肥の農地還元のみからも重要な要素と考えております。本町の畜産においても、高齢化や担い手の減少が進んでおり、飼養頭数の維持・拡大と、収益性の確保が大きな課題となっております。その対策としては、当面のところ農家個々の経営に合わせた増頭を図ることが重要となっております。知名町畜産振興会や農協、関係機関とも連携した増頭対策を進めていきたいと考えております。

問 交流事業について。子供たちを島外で交流体験をさせてあげる機会創設は考えていないのか。

答 町長 子ども達の島外での交流体験は、グローバルな考え方を培うため、非常に有効な施策だと理解します。交流先・予算を含めた交流規模・有効な交流内容を勘案し、次世代をたくましく生かすため、ふるさとまちづくり基金を活用できないか担当課と協議・検討したいと思います。



宮崎県三股町の児童との交流

問 沖洲会との交流事業の創設は考えていないのか。

答 町長 現在、沖洲会は全国に10カ所あります。現在、実施している事業としては、全国沖洲会連絡協議会を2年に一回、知名町、和泊町交互で開催しているところです。

新規の交流事業は特に計画していませんが、沖洲会会員の高齢化や会員数の減少を鑑みると、いわゆる沖洲会2世3世の方々と、島の若者等と交流を促す事も必要ではないかと認識しています。



町長の所信表明について

町長／公約の実現に取り組んでいく

西 文男 議員

問 保育園保育料の無償化はできないか。

答 町長 現在、群島内では天城町が保育料無償化に取り組んでいるようですが、本町における無償化については、子育て支援施策と恒久的なその財源の確保、受益者負担のあり方等についてそれぞれ、その場からの意見を集約し、そのことを踏まえて町民の皆様との合意形成を図る等の手順を経たうえで、将来的にも持続可能な制度として創設の可能性を検討する必要があります。

問 乳幼児医療助成事業、重度心身障害者（児）医療費助成事業の窓口無料化はできないか。

答 町長 本町では現在「乳幼児医療費助成事業」「重度心身障害者医療費助成事業」「ひとり親家庭医療費助成事業」を実施し、対象者の医療費に係る負担軽減に努めています。鹿児島県が平成30年10月から新たな子ども医療費助成として「住民税非課税世帯の未就学児」についての「窓口負担無料化」制度を実施するため、本町もこの制度を活用するために条例改正等条件整備を行う。

問 奨学金制度の拡充、今後の型奨学金制度の拡充、今後の計画は。

答 町長 奨学金制度を拡充して全額給付型にするためには、財源をどのように捻出するか、大きな課題でありますが、今井町長が就任における所信表明の中で、「子育て支援と人づくり」に関連して「若者がスキルアップして島に返れるような給付型奨学金」の検討を表明されていますので、教育委員会としても、財源の確保や給付型奨学金の制度設計などについて、町当局と協議し検討していきます。



問 町長の6次産業化の計画は。

答 町長 農産物等の6次産業化については、積極的に進め、新商品の開発と販路の拡大をふるさと納税等とも関連づけて推進して行きたいと考えています。農村婦人センターが、6次産業化を推進しているとの十分な機能を有している、商品開発機能を有する施設整備については、その利用見込みや6次産業化指向者の実態等を検討した上で判断して行きたいと考えています。



役場庁舎

問 庁舎建設の計画はどうなっているか。

答 町長 平成29年6月に庁舎建設基本構想検討委員会を立ち上げ、検討を重ねています。この間、委員の皆様は委員会での検討・協議のほか、さつま町庁舎視察、PFI研修会などの実施を通して見識を深めています。また結論には達していない状況にあり、作業のスピードアップが必要なことから、事務局体制の強化を進めていきます。

問 町民が利用しやすい場所として、補助率の高い制度を利用して32年度までに建設してほしい。

答 副町長 庁舎建設については、広く町民の意見を聞いて検討していきます。

平成30年第1回知名町議会臨時会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第1号） 平成29年度知名町一般会計補正予算（第6号）について	承 認
議案第1号	工事請負変更契約の締結について （平成29年度上城小学校屋内運動場大規模改造工事）	可 決
同意第1号	知名町副町長の選任に付き同意を求めることについて （赤地 邦男）	同 意

平成30年第1回知名町議会定例会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第2号	平成29年度知名町一般会計補正予算（第7号）について	原案可決
議案第3号	平成29年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第4号	平成29年度知名町水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第5号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	知名町災害による町税減免条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	知名町国民健康保険税減免条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	知名町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	知名町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する 基準等を定める条例の制定について	原案可決
議案第11号	知名町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める 条例の制定について	原案可決
議案第12号	知名町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第14号	知名町フローラルパークの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	知名町地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第16号	知名町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第17号	知名町台処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	知名町道路線の廃止について	原案可決
議案第19号	知名町道路線の認定について	原案可決
議案第20号	知名町道路線の変更について	原案可決
議案第21号	知名町いじめ問題調査委員会設置条例の制定について	原案可決
議案第22号	平成30年度知名町一般会計当初予算について	原案可決
議案第23号	平成30年度知名町国民健康保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第24号	平成30年度知名町介護保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第25号	平成30年度知名町後期高齢者医療特別会計当初予算について	原案可決
議案第26号	平成30年度知名町奨学資金特別会計当初予算について	原案可決
議案第27号	平成30年度知名町下水道事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第28号	平成30年度知名町農業集落排水事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第29号	平成30年度知名町台処理浄化槽事業特別会計当初予算について	原案可決

平成30年第1回知名町議会定例会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第30号	平成30年度知名町土地改良事業換地清算特別会計当初予算について	原案可決
議案第31号	平成30年度知名町水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第32号	おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点の指定管理者の指定について	原案可決
同意第2号	知名町教育委員会教育長の任命に付き同意を求めることについて（林 富義志）	同 意
発議第1号	議員派遣について 一市町村議会議員研修会（派遣場所：鹿児島市 派遣期間：平成30年5月9日～10日 派遣議員：全議員） 一奄美群島議会市町村議会議員大会及び研修会（派遣場所：徳之島町 派遣期間：平成30年5月15日～17日 派遣議員：全議員）	決 定
決定第1号	閉会中の継続調査の件について	決 定



沖永良部・与論地区議会議員大会

（与論町開催）

2月6日、第26回沖永良部・与論地区議会議員大会が与論町で開催され、各町から提出された3議題を採択しました。

- ①乳幼児医療費助成事業・ひとり親家庭医療費助成事業・重度心身障害者（児）医療費助成事業の窓口無料化について（与論町）
- ②児童・生徒の各種大会出場における遠征費の奄振交付金事業算入について（和泊町）
- ③少子化対策・子育て教育費等の保護者負担の軽減について（知名町）

第26回沖永良部・与論地区議会議員大会の提出議題の採択を受けて2月20日、与論町・和泊町・知名町の議長が県知事へ要望書を提出しました。



CH-47J機部品落下の原因究明、再発防止を求める要請について



沖永良部分屯基地司令へ要請文を手渡す今井町長・名間議長

知名町議会では、3月6日に発生した沖永良部分屯基地付近上空から那覇基地所属のヘリコプターの後部カーゴドアの落下事故を受けて、開会中の3月定例会終了後、議会全員協議会を開催し、今回の事故の発生に対し、原因究明と再発防止を求め、航空機による落下事故が、二度と起こらないよう航空機の整備、点検、安全管理体制の充実に向けた積極的な取り組みを文書で回答するよう決議し、3月9日、今井力夫町長、名間武忠議長が沖永良部分屯基地司令に要請文を提出しました。

12月

- 12日・九州電力沖永良部配電事業所長 来室
- 13日・平成29年第4回知名町議会定例会
(2日)
- 14日・平成29年第4回知名町議会定例会
閉会
- 15日・平成29年沖永良部与論地区広域事務所
合議会第2回定例会
- 沖永良部バス企業団議定会定例会
- 16日・知名町商工会忘年会(フローラル館)
- 20日・平安正盛町長 退任
- 21日・今井力夫町長 初登庁セレモニー・議
会挨拶

1月

- 2日・知名町町内一周駅伝伝大会
- 金比羅宮新春祭(はみやま神社)
成人式(あしびの郷・ちな)
- 4日・年始挨拶(県沖永良部事務所他)
- 5日・九州電力送配電カンパニー新知名発電
所長来室(議長室)
- 6日・消防出初式(田皆中学校グラウンド)
- 8日・鹿児島沖洲会新年会・年の祝い
(鹿児島市)
- 11日・平成29年度知名町献血推進協議会
- 18日・平成30年第1回知名町議会臨時会
- 19日・沖永良部衛生管理組合議員現場視察
- 26日・奄美群島振興開発総合調査に係る第3
回奄美選出県議会議員、市町村長・議
会議長意見交換会(奄美市)
- 27日・国営水産事業所・耕地課 新春花見会
(知名生活館)
- 28日・第9回知名町食の文化祭(町民体育館)
- 30日・南3町議会議員大会事前打ち合わせ
議員研修会(ウエルビュかこしま)

2月

- 1日・知名町養護老人ホーム「長寿園」在り方
検討委員会(議会委員会室)
- 4日・平成29年島内一周駅伝大会(18チーム参加)
- 5日・平成29年度第2回知名町上下水道事業運
営委員会
- 6日・第26回沖永良部・与論地区議会議員大会
(与論町)
- 11日・平成30年産春植・株出推進決起大会
- じゃがいも祭り出発式・出荷協議会
- 琉球芸能ふるさと公演IN沖永良部
- 13日・平成30年第1回議会勉強会
- 16日・知名町港湾整備促進委員会
- 17日・南西航空音楽隊ファミリーコンサート
- 20日・南3町議長大合採択議題要望(福久伸一郎
県町村議会議長)
- 県町村議会議長会第69回定期総会
- 県離島振興町村議会議長会 定期総会
(ウエルビュかこしま)
- 21日・平成29年度 知名町特産品フェア
- 表敬訪問、町長同行(三反園 訓知事・柴
立鉄彦県議会議長)
- 23日・平成30年第1回国保・介護・後期保健運営
協議会
- 25日・知名の子表彰、島唄・島ム二大会
(あしびの郷・ちな)
- 27日・大島郡町村議会議長会定期総会等
(奄美市)
- 28日・議会運営委員会

3月

- 1日・沖永良部高等学校第68回卒業式
- 2日・平成29年度 学芸発表会(上城小)
- 沖永良部島分屯基地開庁45周年記念式典
(沖永良部島分屯基地)
- 沖永良部島分屯基地開庁45周年記念祝賀会
(フローラル館)
- 5日・平成30年第1回知名町議定会定例会開会



春暖の候、町民の皆様
におかれましては、ます
ますご健勝のこととお慶
び申し上げます。新年度、
平成30年度が始まり、
小学校、中学校、沖永良
部高等学校に入学された、生徒及び
保護者の皆さま誠におめでとうござい
ます。議会は平成三十年、第一回定例
議会を、三月五日から三月九日までの
五日間開催し、三十年当初予算を中
心に、知名町の、この一年間の方向性
を決定する重要な議案に対し各議員か
ら活発な質疑が行われ、新年度予算が
可決されました。今後は、予算の適正
な執行が行われているか、議会全体で
監視していきたいと思えます。また、
今回の一般質問は九名の議員が登壇し
て、子育て関係、学校教育、福祉関係
そして農業、観光関連の課題等町政全
般に対して、各方面から多くの質疑応
答がなされました。

今定例会には、多くの町民の皆様が
議会傍聴に貴重な時間を費やして頂い
たこと、心より感謝申し上げます。
結びになりますが、議会活動には町
民の声が必要です。いつでも、どこで
も私も議員に声を届けて頂き、共に
住み良い知名町にしたいと思えますの
で、ご指導、ご鞭撻宜しくお願いしま
す。

議会広報委員長 西 文男